



あなたと結ぶ 議会情報誌

6月
定例議会

平成28年7月25日 発行

No. 153

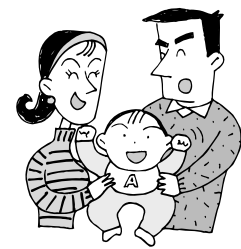
最上町 議会だより



6月定例会...2
 議案審議...4
 一般質問...8
 総務文教常任委員会中間報告報告 教えて議会...10
 特別委員会設置 議会傍聴...11
 議会の動き・編集後記...12

最上校
 親子ふれあい大運動会
 全力で
 それー！引けー！

未来につなぐ『若者定住』



— 一定住支援策確立 最大 300 万円助成 —
— 分譲地販売・最上町版木造エコ住宅建築いよいよスタート —

一般会計補正予算 1 億 1,261 万 3,000 円
総額 66 億 7,756 万 3,000 円

主な補正事業

- コミュニティ助成事業補助金 15,000 千円
- 若者定住環境モデルタウン外構工事費 17,500 千円
- 臨時福祉給付金給付事業費 17,067 千円
- 農地多面的機能支払事業費 8,185 千円
- 西公園施設運営費 1,206 千円
- 道路修繕費 2,000 千円
- 消防設備設置工事費 1,300 千円
- 自治公民館建設設備補助金 6,250 千円
- 災害復旧工事費 2,300 千円



◀ 若者定住環境
モデルタウン
熱供給工事費
16,740 千円

地域経済循環創造事業費 40,000 千円



下白川チップ工場の新設



アスパラ選果場の増設

産地パワーアップ事業費
43,274 千円



最上中大運動会（体育館にて）

6月定例会議会は、6月9日から10日までの2日間の日程で行われました。
提出議案は報告2件、人事案件1件、積載車取得1件、条例の制定1件、一般会計補正予算並びに各特別会計補正予算6件を慎重審議の結果、いずれも原案の通り可決されました。
また、一般質問には2名が登壇し、町の姿勢と政策をたずねました。

【歳出】

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				一般財源
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
1 議会費	84,807	34	84,841					34
2 総務費	1,827,254	27,109	1,854,363	40,076	172	32,200	15,000	19,813
3 民生費	1,166,567	4,176	1,162,391	17,083			30	21,289
4 衛生費	857,825	8,207	866,032					8,207
6 農林水産業費	350,477	34,671	385,148	17,393	49,726			2,338
7 商工費	256,439	9,775	266,214				467	9,308
8 土木費	622,889	6,641	629,530					6,641
9 消防費	214,626	8,781	223,407					8,781
10 教育費	565,882	19,271	585,153		600			18,671
11 災害復旧費	11,645	2,300	13,945					2,300



議案審議



— 主な質疑の中から抜粋 —

■最上町地域振興公社の報告

Q 地域振興公社の営業報告

A 今年で公社も設立29年目を迎えました。この間、西公園施設や病院プラント等の公共施設の管理、病院の窓口や給食センターの調理等の人材派遣等、若者の雇用の場としての役割も果たしてきました。

今後は、公社の事業目的の一つでもある地域振興に向けて「りんどう」を中心に地域資源を活用した交流人口の拡大や町民の健康づくりの場とし

て、さらには再生可能なエネルギー基地と連携し、熱を利用した産業の振興にも積極的に取り組んでまいります。

■一般会計繰越明許費の報告

Q 平成27年度一般会計繰越明許費について。

A 平成28年度で、11事業で3億2609万円の予算を繰り越しました。

繰越明許費とは、次年度に繰り越した事業を言います。

■小型動力ポンプ付積載車の取得について

Q ポンプ車を毎年のように更新しているが、誰がどのような状況で判断しているのか。

又、交換されたポンプ付積載車の処分はどのようにしているのか。

A 消防委員会の答申を得て、20年を経過した笹森・黒沢に配備の積載車を更新するもので、更新車両の内1台は、役場消防配備車両と交換します。

■「こみつざわ未来創造館らいず」の設置及び管理について

Q 使用料の一部又は全部の減免の違いは？

A 基本的には施設の趣旨に沿う使用に関しては全額免除を考えている。

一部の免除に関しては、今後の利用で特別な事情がある場合を想定しています。

Q 使用料と光熱水費の自己負担分について。

A 目的に沿った使用については使用料を減免としますが、一部の部屋等を長期的に占用して使用する場合には、使用者ご自身が使用する電気代や水道料金等の光熱水費は、利用者負担としてお願いすることと考えております。全てを行政負担して支援するのはなく、自努力を念頭に置きながら、出発点は町で支援していきたい。



農家レストラン試食会（旧満沢小）

■ 議案審議

全会一致で可決

■ 人権擁護委員

新任推薦

菅 秀 孝氏
(向町)

一般会計補正予算

歳入

Q 1億1千261万3千円、この補正が通ればすぐに使える金額はどの位なのか。また、すぐに発注できるのか。

A 一般財源のほとんどを財調基金からの繰り入れで対応しており、事業進行には問題が生じることはありません。今後財調基金を大切に使うまいります。

歳出

総務費

Q 若者定住事業は、これまで工事がストップしたり、工事が延長したり、工事が進むと各種の補正



若者定住環境モデル住宅建設予定地

と次々に問題が出てきました。何故こうなったのか説明を問う。

A 若者定住環境モデルタウンの整備については、土地開発許可の手続き等に時間を要し、熱供給施設、道路融雪等の工事は

平成28年度に繰越明許させていただけました。振り返れば、タウン内の工事は7件に及び、調整に甚だ苦慮いたしました。このほど繰越明許の環境省事業も完成を見ることができました。

Q 若者定住の熱供給増額の要因は？

A 熱供給設備の構築については、本年度から住宅側の工事がスタートいたします。そうした中、タンクの断熱等の工事を行うことで、より効率的にシステムを運用できることが分かったことから増額補正し設備するものです。

Q 6棟の建て売り住宅の工事発注の考え方を伺う。

A 建設については、町内企業の優れた建築技術と柔軟性を発揮していただく事と、町民の理解を



消防操法大会

得られるような発注方法として、競争による入札を現在検討しております。

Q 地域おこし協力隊の活動内容は？

A その名の通り、地域活性化に貢献してもらいながら、国が意図しています隊員の地域定着化に向けて、仕事の確保も含め努力して参りたいと考えております。

Q 今後の公民館の新築

に関し、小さい集落での12の負担は厳しいのでは。その考え方は？

A 既存の公民館の更新を、全て町で負担することは難しいと考えています。補助金の上限を最大1千万円、12と定めています。町の補助金だけでなく他の補助金なども利用しながら、少ない人数で高額の借地料をどう負担していくのかも含めて検討してまいります。

民生費

Q 未満児の入所が増え
たが、延長保育等の管理
は十分なのか？

A 未満児、3歳児など、
部屋を分けて指導者をそ
れぞれ配置し、管理が手
薄にならないようにして
います。

商工費

Q 西公園温水プールの
今後について。

A 熱源であるヒートポ
ンプが老朽化し、部品の
確保も難しくなっていま
す。改善するために今年
度の補助事業に申請しま
す。

土木費

したが、採択になりませ
んでした。今後、早急に
計画を策定していきます。

Q 若者定住外構工事の
補正が計上されましたが、
当初からの計画なのか、
なぜ今補正なのか？

A 平成28
年度の若者
定住（集合
住宅）建築
工事の実施
にあたり、
入居者の利
便性や管理
など工事の
内容を精査
し、建築工
事費と併せ
て実施して
いくという
計画で、地
盤を下げる
ための工事
です。

農林費

Q 9月の豪雨災害で農
地の被害箇所、町負担の
補助金の状況について。

A 昨年の豪雨災害に関
し、今年度に原材料費や
重機の借り上げ料で支出
している箇所は現在のと
ころ6地区で対応してお
り、工事は2箇所を行っ
ている。また、秋施工と
して2箇所ほど予定して
いる。今後も農業者から
の聞き取りに基づき、昨
年度の災害復旧に対応し
ていきます。



豪雨災害

教育費

Q 小学校・中学校の危
機管理体制は？

A 不審者の侵入に備え
て危機管理のマニュアル
を作成し、訓練も行って
います。登校後には施設
し、訪問者に関しては力

Q いじめ対策の今後の
動きは？

A 学校毎にいじめ防止
の講演会・のぼり・パン
フレットなどを制作し、
いじめのない学校づくりに
取り組んでいきます。

メラ付きのインターホン
で対応しています。



ロードレース大会

5/10 臨時議会
平成27年度各会計補正予算の
専決処分の承認

Q 軽自動・小型特殊の
増税について、また町と
して免許取得の支援策に
ついての考えは。

A 軽自動車等の増税に
ついては、昨年度より周
知を行っております。
免許の取得については、
人材育成支援事業補助金
制度により支援をしてお
ります。

Q 後期高齢者75歳以上
の人数は。また、広域連
合の納付金の減額の理由
は。

A 平成28年4月1日現
在で1866人20・4%
になります。県内1本で
対応し実績に応じて減額
になっていきます。

Q 介護サービス等の諸

費2000
万円の減額、
また高額介
護サービス
の300万
円の減額の
理由は。
A 平成27
年度に、介
護報酬のマ
イナス改定
があったた
めに大幅な
減額になっ
たものです。
施設介護か
ら在宅介護
へと推進している中、介
護給付費が増額になって
いるので周知していきま
す。

**若者定住環境モデルタウン
いよいよ募集開始！**
第1弾は分譲地7区画 255〜260㎡ 300万円

若者定住環境モデル住宅PRチラシ

募集していききたい。

進捗状況は。
A 5月には地域との話
し合いをもって、県とも
連携をしていきたい。

Q 建て売り住宅の建設
財源は売り払いの収入で
あてたいという考え方で
すが、それで予算として
計上できるのか。
A 当初は、基金から1
億1028万円を取り崩
して財源とし、売り払い
金を積み戻していきます。



シルバーレクリエーション大会

Q 本城2区地域を、下
水道事業区域から除外し
て浄化槽事業（合併浄化
槽事業）で推進していく
ということと地域の方々
と話し合いを進めていき
たいという事でしたが、

Q 最上町若者定住環境
モデルタウンのPR状況
は、遅れていないのか。
A 4月下旬からの公募
を予定していたのですが、
出来ませんでした。紙媒
体と併せて情報を発信し

最上駅の無人化に今後の課題を問う！



尾形 勝雄 議員

町長答弁 駅を多角的に施設の有効利用を検討

問 最上駅が平成28年4月から無人化になり、町として今後の課題をどのように捉えているか。

答弁 駅という公共の空間が無人化になってしまふことで、青少年の安全の確保の面に加え、町民の皆さんにとっても地域の拠点としての機能の後退があるのは事実だと考えています。駅無人化を受けた、子供たちの安全へのサポートは、従来の駅員さんの目配りが無いわけですが、これまでも教育委員会をはじめ、町青少年育成町民会議、防犯協会の皆さん

問 買い物弱者（交通弱者）への対応策について

答弁 少子高齢化と人口減少が進む本町において、平成28年4月

も見守り等の青少年対策を講じております。改めて、駅無人化後の状況を適切に把握しながら、町・各団体・地域住民が一体となった取り組みが求められてくるものと考えてるところです。

また、最上駅については、観光産業等の振興面からもJRの協力のことも、施設を有効利用することは、子供たちを見守る対策にも運動する可能性が大きく、町としても今後を担って参りたいと考えています。

買い物弱者（交通弱者）への対応策を問う！

1日現在の高齢化率は34%で、一人暮らし高齢者が246人、高齢者夫婦世帯が268世帯と年々増加している状況にあります。

平成25年度に移動販売事業者は3軒ありましたが、現在は事業を行っていない状況にあります。高齢者になっても住み慣れた地域で、安心して生活を続けられることが町民の願いであり、「買い物弱者」にとって移動販売事業は大きな役割を果たしてきました。現在は一部事業者が宅配サービス等を提供している状況にあります。



無人化となった最上駅

今後は地域での顔が見える支え合い・助け合い活動の仕組みの構築を進めて参ります。

また、移動販売事業は地域での生活を継続可能にする有効な社会資源であるため、希望される事業者への支援を検討したいと考えています。



町政を問う

一般質問は、行政全般にわたる議員主導による政策議論であり、大所高所からの政策を建設的立場で議論し、効率的な会議運営が必要なことを十分理解し簡明で、しかも内容のある質問を展開するものです。

西公園運動施設のこれから

町長答弁 指定管理者との連携を強化し、町民の健康づくりができるよう努力していく

問 体育館の入り口は雨漏りの為に、常にバケツが複数置いてあり、天井の照明は半分が点灯していない状況で劣化による落下の恐れもあるのではないかと心配です。また移動式のバスケットゴールは壊れていて大会を開きたくても開けないという声も聞きます。体育館の大規模修繕はしないというのですが、どこまでが大規模修繕なのか？

答弁 大規模修繕とは、耐震補強や屋根の葺き替え、ボイラー施設更新等の数千



宮本 浩 議員

問 体育館を廃止にした場合は、新たに町民体育館を建設することは考えていないのか？

答弁 西公園活性化検討委員会の答申を尊重しながら維持管理を行ってまいりますが、新しく町民体育館を建てるか？については今ここで「建てます」とは言えない状況です。

問 アンテナショップでの生産物の販売、イベント出店の販売、

で町外に向けてPR活動をされていますが、生産者と事業者をマッチングさせる機会が少ないように感じます。また市場に出せない規格外品を生産者から、消費者に配送できる仕組みが出来れば生産者の収入が増え、新たな雇用や担い手不足の解消にもつながります。生産物の販路開拓支援についての考えは？

答弁 仙台圏もがみ友の会で特産を使った料理の提供、東京イオンスタイル板橋前野支店において山形もがみフェアを開催し、販路拡大を模索しています。また、規格外品の流通に關してはITを駆使し、生産予測から流通・販売につ



イベント販売

なげていく試みに期待して支援していきます。

問 これからは、国内だけでなく海外への販路開拓支援も重要だと考えますが？

答弁 海外に対しては、人やモノだけでない「絆づくり」をすることも大事。最上町は、まだまだ「伸びしろ」があると思っています。

早期解決特別委員会を設置!!

最上小国川流域の治水・利水・活性化促進に関する特別委員会の設置

委員長 菅 柁悦
副委員長 佐澤 浩

平成 24 年 8 月「最上小国川流水型ダム」の早期完成と流域の振興に関する特別委員会」を設置し、流水型ダムは平成 31 年 3 月の完成を目指し工事が進んでおります。

平成 27 年 4 月に「最上小国川清流未来振興機構」が設立され、山形県・舟形町・最上町・小国川漁協の 4 者で進めていく体制が整備されました。

その一方で、流域の治水整備について進んでいない状況であり、昨年 9 月に発生した豪雨災害では、町が始まって以来の「避難勧告・避難指示」が発令され、甚大な被害を被りました。



小国川鮎釣り

赤倉地区の内水処理、安全安心な河川管理に向けた施策は急務であり、この状況を踏まえ「最上小国川流域の治水・利水・活性化促進」をテーマとし、特別委員会を設置するものです。

新たな「ウエルネスタウンもがみ」の創造に関する特別委員会の設置

委員長 佐藤 義男
副委員長 大沼 正視

本町は平成元年に設置された「ウエルネスタウン構想」のもと、健康な体・健康な心・健康な社会生活をめざす町づくりとして全国に先駆けた「保健医療福祉」について特別委員会を設置し、数度にわたる所管事務調査等を通じて執行部に提言し、実現したものです。昭和 61 年設置以来 30 年近く経過した現在、3,000 人以上も人口が減少し町を取り巻く状況は大きく変わり、今後も人口減少状況は深刻化していくのは明らかです。

現在、我が町立最上病院を含む地方の自治体病院は苦しい経営を余儀なくされており、今こそ地域包括ケア体制をいかに構築していくか、町民あげて検討する時期であります。このような状況を踏まえ、議会全員協議会を経て「新たなウエルネスタウンもがみ構想」をテーマとし、これからの地域医療・福祉・介護について調査研究・協議し、町執行部はもとより国や県に対しても提言すべく特別委員会を設置するものです。



ウエルネスプラザ



6 月定例会を、
向町 2 区サロンの
皆さんが傍聴され
ました。

議会傍聴

地方創生の流れの中で人口減少対策を!!

出雲崎町「ひまわりハウス」



- 長野県下條村のおもな取り組み
 - 上下水道浄化槽 96.6% で法定検査料村負担、保守点検料、清掃料を村で補助
 - 生活環境整備工事に貸付支給は年間 1,000 万円
今まで 1,612 ヶ所 3 億円以上
 - 学校教育で中学 1 年グアム研修（半額補助）
 - 集合住宅（補助金を使わない）10 棟（124 世帯） 1 戸建住宅（国事業）54 戸 高校卒業まで医療費無料化 保育料 50% 引き下げ 子育て応援基金の創設 7 億円 給食費 50% 補助 新築補助上限 100 万円 増改築 50 万円 用地取得に 50% で上限 200 万円 入学祝金（小学校 3 万円分 中学校 6 万円分） 出産祝金（第 2 子 5 万円 第 3 子以上 20 万円）
- 新潟県出雲崎町のおもな取り組み
 - 人口減少対策 分譲地 153 世帯 520 人増 町内・町外 50/50 で 1 割が県外
 - 集合住宅（オール電化・エレベータ・集会所）20 戸
（ひまわりハウス） 駐車場 2 台分、45,000 円の家賃が子供の人数で 13,000 円まで下がる。
新婚生活支援 月額 5,000 円を入居から 3 年支給
新婚引越支援 転入 70,000 円、町内転居 30,000 円支給
ミキハウス（子育て総研） 東北電力（オール電化）の協力 PR、パンフレット等の力添え

下條村は 4,000 人の人口で借金が 8,000 万円、基金が 60 億円で「奇跡の村」と言われ、職員数 39 名で村民が労う姿が見られる。

出雲崎町は、分譲地施策で 520 人増の実績があり、集合住宅から分譲地で進めて行くとの事。本町で進めている若者定住環境モデル住宅を見守りながら、人口減少対策について継続審査をし、9 月定例会で最終報告を致します。



産業厚生委員会所管事務調査

教えて議会!?

議会のしくみ、用語を分かりやすく解説!!

■ 委員会ってなに？

議論する内容も幅広い分野になるため、部門に分けて専門的・能率的に審査や調査するために設けています。

- 総務文教常任委員会 総務課・町民税務課・教育文化課・幼児教育課・会計課
- 産業厚生常任委員会 建設課・農林課・農業委員会・交流促進課・健康福祉課・病院・介護老人保健施設
- 議会運営委員会 定例会の調整や本会議進行
- 議会広報編集委員会 議会広報を発行
- 新たなウエルネスタウンもがみの創造に関する特別委員会 これからの地域医療、福祉、介護について将来あるべき姿を調査研究
- 最上小国川流域の治水・利水・活性化促進に関する特別委員会 安心安全な河川管理に向けた施策と流域の治水・利水・活性化促進をテーマにこれからの河川管理・維持管理・水環境整備について調査研究

議 会 の 動 き



瀬見温泉共同浴場完成式



議会広報研修会(ピックウイング)



関東圏もがみ友の会総会

【月毎の主な日程】 4月～6月の活動日数 82日

〔4月〕	
6日	町内こども園・保育所・幼稚園入園入所式 議会広報編集委員会
7日	最上中入学式
8日	町内小学校入学式 新北最上校入学式 事務局長会議
14日	全員協議会
18日	地方創生プレミアム講演会 議会広報委員会
25日	産業厚生常任委員会 最上小国川流水型ダム堤体工事転流見学会
26日	最上小国川清流未来振興機構総会
28日	議会運営委員会
29日	最上中運動会
〔5月〕	
2日	議会全員協議会
3日	町消防団春季大演習
10日	5月臨時会
16日	国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進期成同盟会役員会、総会
20日	広域議会 議会運営委員会
23日	新庄湯沢高規格道路建設促進同盟会役員会、総会
24日	知事を囲む市町村自治振興懇談会
25日	町村議会広報研修会(ピックウイング)
26日	町議員懇談会
27日	広域議会5月臨時会
30日	全国町村議長・副議長研修(～31日)
〔6月〕	
1日	瀬見温泉共同浴場完成式「せみの湯」
2日	議会運営委員会 全員協議会 新たな「ウエルネスタウンもがみ」の創造に関する特別委員会
6日	社会教育委員会
9日	全員協議会 6月定例会(～10日)
13日	地方創生まちづくり講演会
15日	県林活性化促進議員連盟総会
16日	県町村議会議長会臨時総会(～17日)
18日	紅梅荘後援会総会 中央講座講演会
23日	赤倉温泉観光協会通常総会
24日	シルバー体育レクリエーション大会
28日	「第2次ウエルネスタウン最上21」推進協議会

誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

次回の定例会は9月です

インターネット配信中(町ホームページから)

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362



編集後記

「健康に勝る幸せなし」
医療・介護・福祉、住民全てが健やかであることを前提に「ウエルネスタウンもがみ構想」を策定。あれから30年、3000人も人口減少が進み、尚かつ今後も続く中で取り巻く環境は大きく変わってきているにもかかわらず、国は全国一律の制度実施のため地方の自治体病院は苦しい経営を余儀なくされています。その為この度、議会では何が足りて何が足りないのかについて調査・研究するべく特別委員会を設置し、町・県・国に対して提言していきたいと思っておりますのでよろしくお知恵を拝借し、ご一報下さればとお願いしたい。
(大沼正視)

【発行責任者】

議長 菅 俊郎

【広報編集委員会】

委員長 二戸 守
副委員長 大沼正視
委員 佐澤 浩
" " " 橋本 正
" " " 尾形勝雄
" " " 宮本 浩